

はじめに

昨年11月公開時に『いいところ見つけ！』カードを全員の生徒に渡したいと発表をしていました。

公開後の12月後期中間懇談会から全員の生徒にICTを活用して渡すことができました。

生徒1人に1枚の『いいところ見つけ！』カード（複数の教師記入）の内容を書いたり

考えることを通して、その生徒にとっての

意義ある他人としての教師や生徒理解を広げた応援者になれるように努力してきました。

また、義務教育小中9年間という発達段階に応じて育てていく目標のために、ひろしま型カリキュラムから各全体計画（新しい学習指導要領完全実施来年度）を準備しました。そして、学校と家庭が連携して育て、地域に向けて生徒のよさを発信していきたいと考えました。

特に、本年度は、広島市授業改善推進校として言語・数理運用科の効果的な活用に関わる研修から次のことを考えました。思考力・判断力・表現力を育成する授業を通して、生徒が目標達成したときの『ほめ言葉』や、授業の目標達成へと方向付ける形成的評価としての『励ましの言葉』を磨いていきたいと考えました。

『ほめ・励ましの言葉』と『いいところ見つけ！』カードの交差するところに「生徒が下校時には、朝よりも少し自信がついていて、少し賢くなっていることを実感して、『早く学校に行きたい』『学校に行くと元気になる』という五日市南中学校をめざしていきたい。」という若い研究推進委員長に代表される意気込みが入っていると思います。その足りないところを小小中で補い支えていただきながら、地域の文化センターとしての図書館や地域・保護者・コミュニティ（学校評価）の機能を通して推進をしています。本日はその一端を公開させていただきました。ぜひ、皆様方の忌憚のないご指導、ご助言をいただきたいと存じます。

終わりにになりましたが、兵庫教育大学大学院教授加藤明先生、第5代校長村田守孝先生、広島市教育委員会の諸先生をはじめ五日市南中学校の取組みを支援していただいた先生や地域の皆様にご心から感謝申し上げます。

平成23年11月18日

広島市立五日市南中学校 校長 本多雅一

